



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社

コード番号 5268 URL <http://www.asahi-concrete.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浦上 勝治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 松原 哲

TEL 03-3542-1201

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,472	7.8	△33	—	△20	—	6	—
24年3月期第3四半期	7,858	△8.5	△54	—	△33	—	△54	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	0.50	—
24年3月期第3四半期	△4.11	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,803	7,519	58.7
24年3月期	13,353	7,504	56.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,519百万円 24年3月期 7,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	7.50	7.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.8	120	—	130	251.4	100	669.2	7.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	13,233,000 株	24年3月期	13,233,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	85,098 株	24年3月期	85,098 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	13,147,902 株	24年3月期3Q	13,147,985 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に、緩やかに回復の動きがみられるものの、欧州債務危機や海外経済の低迷等、国内経済への影響を与えるリスクは依然として存在しており、景気の先行きは不透明なものとなっております。

当社の関連するコンクリート製品業界におきましては、震災復興関連需要に動きがあるものの公共事業全般では厳しい状況が続き、民間設備投資も低調に推移しました。

このような状況下、当社は中期経営3カ年計画Challenge「New Rebirth」の最終年を迎え、主力製品であるボックスカルバートの優位性を高める耐震性接着継手工法「TB（タッチボンド）工法」や、「ECO-C・L（エコ・クリーンリフト）工法」の普及・拡販を軸に販売力強化を図ってまいりました。この結果、当第3四半期累計期間の売上高は84億7千2百万円となり、前年同四半期に比べ7.8%の増収となりました。

損益面におきましては、受注内容の改善、販売価格改善と厳しい製造原価管理によるコストダウン等により営業損失は3千3百万円（前年同四半期は5千4百万円の損失）、経常損失は2千万円（前年同四半期は3千3百万円の損失）となり、若干の改善をいたしました。また、京都市右京区更地（214.47㎡）を4千5百万円で、遊休化していた綾部工場敷地（19,080.72㎡）を6千3百万円で売却したことに伴う固定資産売却益6千2百万円、固定資産除却損5百万円及び税金費用を加減算した四半期純利益は6百万円（前年同四半期は5千4百万円の損失）となり、前年同四半期に比べ6千万円の増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

（コンクリート関連事業）

コンクリート関連事業は、受注高は92億2千3百万円、売上高は84億3千4百万円（前年同四半期は78億1千8百万円）、セグメント損失は2千7百万円（前年同四半期は4千6百万円の損失）となりました。

①セメント二次製品部門は、受注高は35億2千7百万円、売上高は29億3千2百万円（前年同四半期は27億8千6百万円）となりました。

②工事部門は、受注高が3億4千9百万円、売上高は2億5千9百万円（前年同四半期は2億4千1百万円）となりました。

③その他部門は、工事事業資材及びコンクリート製品に装着する資材等で、受注高は53億4千5百万円、売上高は52億4千2百万円（前年同四半期は47億9千万円）となりました。

（不動産事業）

不動産事業は当社が保有するマンション等の賃貸収入で、売上高は3千8百万円（前年同四半期は3千9百万円）、セグメント利益は2千1百万円（前年同四半期は2千1百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は128億3百万円（前事業年度末に比べ5億5千万円減少）となりました。流動資産は前事業年度末に比べ7億1百万円減少し、89億5千7百万円となり、固定資産は1億5千万円増加して38億4千5百万円になりました。流動資産の主な増減は、現金及び預金が1億7千1百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が9億2千8百万円の減少となっております。

当第3四半期会計期間末における負債は52億8千3百万円（前事業年度末に比べ5億6千5百万円減

少)となりました。流動負債は前事業年度末に比べ6億4百万円減少し、48億2千万円となり、固定負債は前事業年度末に比べ3千8百万円増加し、4億6千3百万円となりました。流動負債の主な増減は短期借入金の増加1億円、支払手形及び買掛金の減少6億7千2百万円であります。

当第3四半期会計期間末における純資産は75億1千9百万円(前事業年度末に比べ1千5百万円増加)となりました。主な増減は配当金の支払9千8百万円等による利益剰余金の減少9千2百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億7百万円であります。その結果、自己資本比率は58.7%となり、前事業年度末に比べ2.5%改善致しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月18日の決算短信で公表いたしました、通期の予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,070,554	3,241,783
受取手形及び売掛金	5,194,885	4,265,933
製品	1,155,177	1,161,017
原材料及び貯蔵品	102,992	138,547
その他	143,823	163,262
貸倒引当金	△8,925	△13,119
流動資産合計	9,658,508	8,957,424
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	247,328	235,787
機械及び装置(純額)	148,288	167,936
土地	1,720,310	1,678,262
その他(純額)	364,444	386,254
有形固定資産合計	2,480,372	2,468,240
無形固定資産	73,258	72,629
投資その他の資産		
投資有価証券	930,601	1,097,596
その他	221,689	218,010
貸倒引当金	△10,832	△10,780
投資その他の資産合計	1,141,459	1,304,826
固定資産合計	3,695,090	3,845,696
資産合計	13,353,598	12,803,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,979,724	3,307,120
短期借入金	1,200,000	1,300,000
未払法人税等	20,331	13,747
賞与引当金	79,142	39,059
その他	144,969	160,200
流動負債合計	5,424,167	4,820,128
固定負債		
退職給付引当金	81,531	85,581
長期未払金	115,410	104,130
その他	227,934	273,318
固定負債合計	424,876	463,029
負債合計	5,849,044	5,283,157

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金	819,054	819,054
利益剰余金	5,418,799	5,326,730
自己株式	△44,829	△44,829
株主資本合計	7,397,924	7,305,856
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106,629	214,107
評価・換算差額等合計	106,629	214,107
純資産合計	7,504,554	7,519,963
負債純資産合計	13,353,598	12,803,121

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,858,015	8,472,771
売上原価	7,174,110	7,768,255
売上総利益	683,904	704,516
販売費及び一般管理費	738,900	737,682
営業損失(△)	△54,995	△33,166
営業外収益		
受取利息	4,031	2,524
受取配当金	10,222	16,381
その他	27,483	18,973
営業外収益合計	41,738	37,879
営業外費用		
支払利息	10,875	10,801
その他	9,668	14,280
営業外費用合計	20,544	25,081
経常損失(△)	△33,801	△20,368
特別利益		
固定資産売却益	—	62,533
特別利益合計	—	62,533
特別損失		
固定資産除却損	7,702	5,889
その他	265	—
特別損失合計	7,967	5,889
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△41,769	36,275
法人税、住民税及び事業税	13,248	13,089
法人税等調整額	△987	16,645
法人税等合計	12,261	29,734
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,030	6,540

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。